

令和7年度福岡県農業大学校外部評価会議録（要旨）

1 日時場所

令和8年3月17日 13:10～15:40 福岡県農業大学校 大教室

2 出席者

外部評価委員（5名）

福岡県青年農業士会会長 松崎治久氏

農業大学校元同窓会会長 進藤重徳氏

福岡農業高校長 平田陽一氏

福岡県農業協同組合中央会農政広報部長 宮原喜明氏

県庁後継人事室長 大谷勇樹氏

農業大学校職員（6名）

内野、堤、河野、浦山、井上、平嶋

3 評価事項

令和7年度取組実績及び目標達成状況

重点目標：先進技術と高い経営感覚を備えた新規就農者の育成確保及び農業・農村社会の発展に貢献できる人材の育成

目標 卒業生・修了生の新規就農者割合 65%

卒業生・修了生の就農・就職率 100%

実績 卒業生・修了生の就農者割合 51%（目標達成度 78%）

卒業生・修了生の就農・就職率 100%（目標達成度 100%）

4 評価の概要（評価調書記載内容含む）

【取り組み内容説明】

別紙資料参照

【質疑】

（近藤）農業情勢が厳しい中、農業者及び指導者の確保が難しくなっている。そのような中、農大は至れり尽くせりやっていると思う。

農大での寮生活はどのようなものであるか？また、共同生活は一生に一度の貴重な経験となるので学生はどのように過ごしているのか？

（回答）現在8割が入寮している。昔と比べて真面目なおとなしい学生が増えていると思われる。カウンセリングを実施している。

時間外では学生生活は楽しいとの意見が多い。たまに、点呼欠などはあるが、厳重注意等を実施している。

寮については7月から新たに入寮を希望するものもあるが、退寮するものは少ない。

(平田) ①ファー夢プランの経験者が入学生の何人入っているのか？

(回答) オープンキャンパスで27名、ファー夢プランで5名。ただし、ファー夢プランの5名はオープンキャンパスに含まれる。

(平田) ②八女農では入学してすぐに農大を受けたい学生がいたが、要望として農業高校「枠」というものを検討願いたい。

(回答) 推薦入試の方で内申点が3以上を要件としていることから、「枠」を作らなくてもいいのではと思われる。逆に、枠を作ることの弊害が多いと思われる。

(平田) ③新技術などはものが入ればDXと思われがちだが、データの蓄積が大切だと思う。農大の取りくみはどのようなものであるか？

(回答) 新しい情報を得るために、外部講師にお願いしているところもあるが、実際の実習の場面では農大の先生が機械の動かし方やデータの集積方法について学生に指導をしている。新技術については継続して学習できるよう、高校での指導と農大の指導をすりあわができないか情報交換していきたい。

(平田) ④自分の家の経営を改善するため、経営者育成のための学校が北海道や福農の専攻科など全国で5校あり、週1回登校している状況。こちらの研修科はどのようにされているのか？

また、年齢層がどうか？

(回答) 本校では毎日登校することとなるが、単位取得などはない。社会人を卒業して来る人も多く、出口は雇用就農も可としている。年齢層は若い。

実際に経営している人については経営技術支援課が開催している講座をお勧めする。

(松崎) 新規就農の65%はどのように考えか？

(回答) 非農家の学生が増加しており、就農へ導くために、まず雇用就農で就農し、経験を積み上げ、その後、土地や施設が確保できれば、就農をめざすことと考えている。

(松崎) ②入試倍率はいかがか？

(回答) 開校以来1.1程度である。

(松崎) ③卒業者が46名と50名ではないため、地域農業を支えるため、もう少し多く入学できないか？

(回答) 本校の施設や教室等の規模は定員の50名を想定。今後入学者を増やすという視点は今後考慮したい。

(松崎) ④農家留学研修やインターンシップなどは成長になるが、どんどん縮小していると思われる。昔は泊まり込みなどあったが、農大に来たら強くなるとのイメージになるようにしてほしい。

(宮原) J Aでも営農指導員は減少している。

農業経営の概論、マーケティング論は実施しているか？農業簿記3級は？

(回答) 講義を実施している。簿記や危険物等合格率が低い。合格率向上に向けて取り組んでいきたい。

(大谷) ①継続研修の2名の背景を教えてください。

(回答) 養成科1名は海外研修。研修科1名は農地の確保がR9年度からとなったため、1年間は農家での研修を行う予定。

(大谷) ②新技術DX外部講師の考え方

実習の中で実践しながら、新しい情報を取り入れていくため、専門毎に詳しい外部講師による講義を実践していきたい。

(宮原) 研修科への入学者数が少ないのは、トレーニングファームの影響か？

(回答) 地域性が考えられると思うが、トレーニングファームは県南に多く設置され、地元の人が利用しており、一方、県北地域は施設がないことから、農大の研修科への入学は県北出身が多くなる。

(農大) 農業を始めるには初期投資が大きい、雇用して、のれん分けは可能か？

(松崎) 田舎の方では、資本主義的な目線で農地を買うことになると周りの農家の目線が気になる。特に先祖代々の土地であるため、それを買い集めて事業をすることは、やっかみ等の原因ともなり、難しいところ。

(農大) 雇用主からして雇用就農に対する意見を聞きたい。

(松崎) 本人のやる気と技術や研究向上のバイタリティがあり、人間的にできている人。以前は農大の校是を大きな声で元気よく出していたが、今の人たちは大きな声が出せず、元気がなく、活発な人が少ないと感じられる。

(農大) 講義では身につかない部分もあるが、これから受け入れてもらうように指導していきたい。

3 評価調書